

経営比較分析表（令和5年度決算）

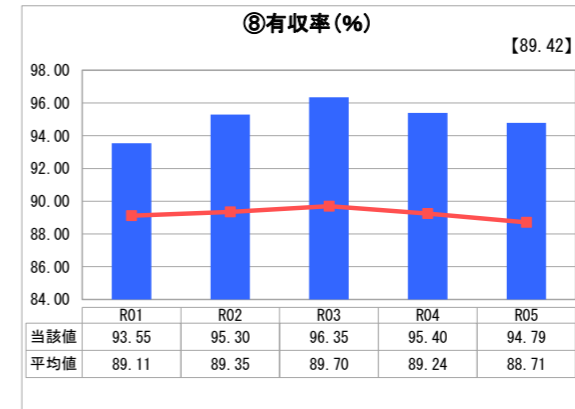
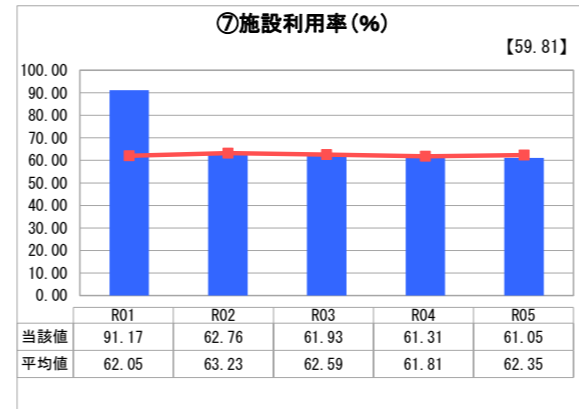
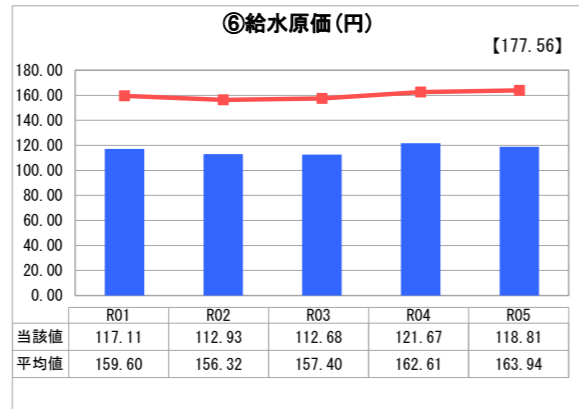
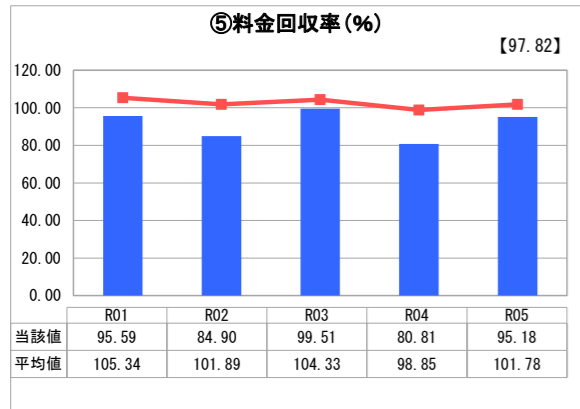
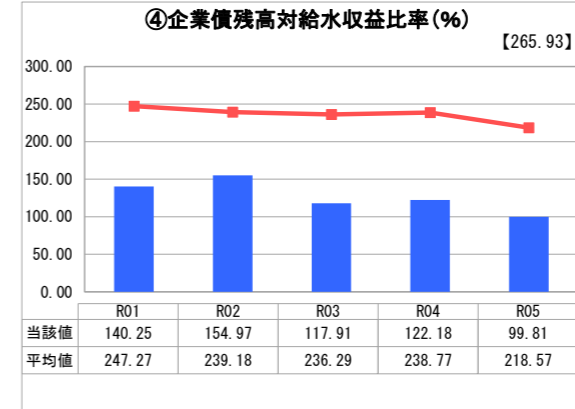
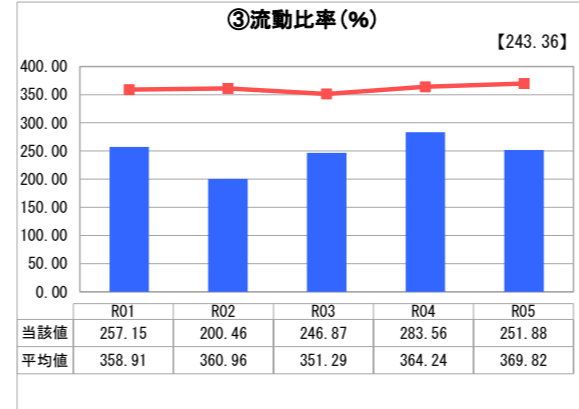
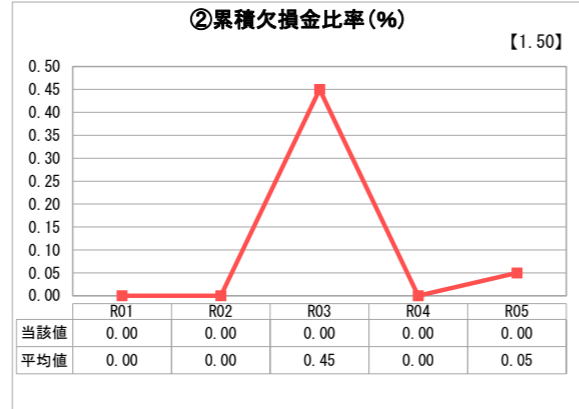
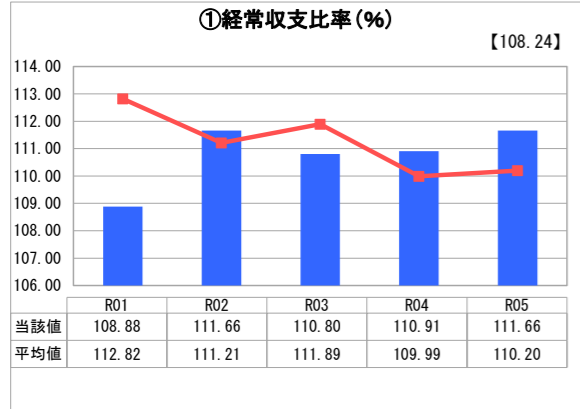
埼玉県 ふじみ野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	84.64	100.00	1,933	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
114,363	14.64	7,811.68
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
114,701	14.64	7,834.77

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

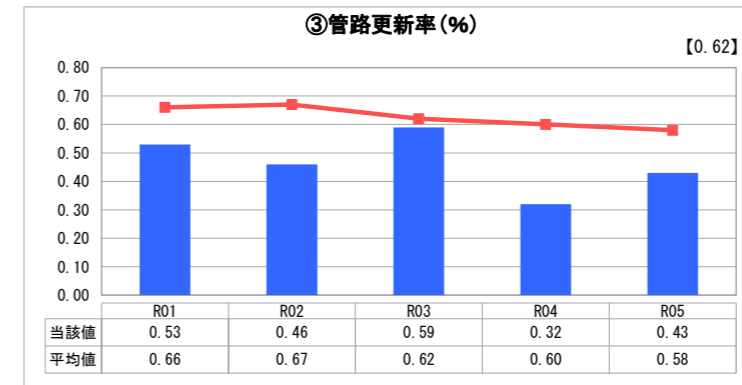
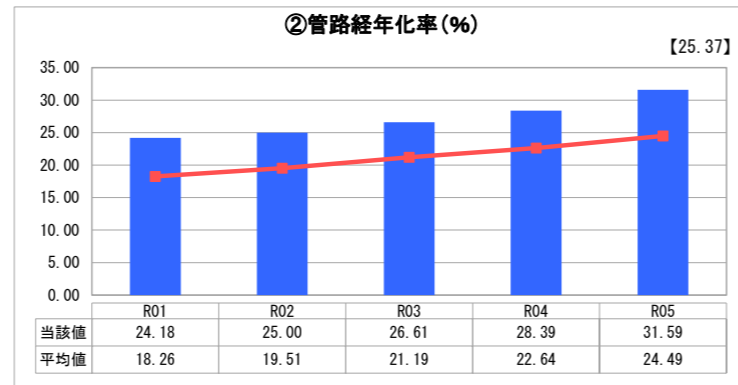
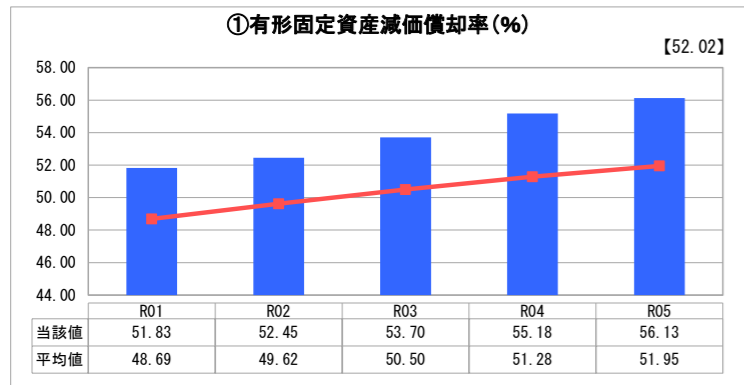
1. 経営の健全性・効率性について

- ①「経常収支比率」
経常収益において、大規模な共同住宅開発等による加入金収入の増加により、100%を上回るとともに、類似団体平均値よりも高い数値となりました。しかしながら、今後については水道施設の老朽化・耐震化への更新に備えた財源確保が必要となるため、経費削減や給水収益の増加に向けた経営改善を図ってまいります。
- ②「累積欠損金」
累積欠損金は発生していませんが、財政シミュレーションを実施したところ、令和6年度以降年度の収支が赤字となることを見込まれたため、水道料金の改定を令和6年10月に行い、給水収益の改善を図ります。
- ③「流動比率」
100%を超えているものの、未払金の増加により令和4年度から31.68ポイント減少し、類似団体平均値を大きく下回ったため、補助金や企業債等を有効活用して現金預金の確保を目指します。
- ④「企業債残高対給水収益比率」
類似団体平均値を大きく下回り、債務残高が低く抑えられています。今後、水道施設の更新が計画されていることから、計画的な整備を進め、適切な企業債の借入を行ってまいります。
- ⑤「料金回収率」
100%を下回り、類似団体平均値より低い状態が続いています。給水に係る費用が料金収入だけで賄えない状況改善のため、水道料金の改定を令和6年10月に行います。
- ⑥「給水原価」
類似団体平均値より低い状態が続いているものの、供給単価を上回っており、逆ざや（供給損）の状態が続いています。企業債の利用に加え、施設のダウンサイジング等による費用削減に努めるとともに、料金改定を行うことにより、収支バランスを考慮した経営を目指します。
- ⑦「施設利用率」
令和2年度に一日最大給水量（一日配水能力）を上方向修正したことにより、数値が低い状態が続いています。節水機器の普及に加え、人口減少により、将来的には使用水量の減少が見込まれるため、施設のダウンサイジングに着手し、改善を図っています。
- ⑧「有収率」
類似団体平均値より高い水準で推移していますが、前年度比では0.61ポイント減少しております。浄水場から出た水量に対してメーターを通った水量が少なく収益に結びついていないため、施設及び設備の更新を進めながら有収率100%に近付けるように努めます。

2. 老朽化の状況について

- ①「有形固定資産減価償却率」
増加傾向で推移しているため、水道事業基本計画で定めた耐震化及び更新事業計画や投資財政計画に基づき、適切に施設の更新を行いながら水道事業を運営してまいります。
- ②「管路経年化率」③「管路更新率」
類似団体平均値に比べて、管路経年化率は大きく上回っている一方で、管路更新率は年度により差はあるものの下回る状態が続いています。更新に係る費用と収益等のバランスを考慮しながら計画的な施設の更新と財源の確保に努めます。

2. 老朽化の状況



全体総括

大規模な共同住宅開発等による加入金収入の増加によって利益が発生しているものの、料金回収率が100%を下回る逆ざやや状態が続いています。また、経年化率が高い一方で、管路更新率は低い状態で推移していますが、今後、施設の老朽化・耐震化への更新により多額の資金確保が必要となることから、早急な経営改善の必要があります。

このような状況を踏まえ、給水収益の改善を図りつつ、経費削減に努め、水道ビジョン・水道事業経営戦略に基づき、計画的な投資更新計画を進めるとともに、令和6年10月に料金改定を行い、安定的な事業運営を目指します。